

福島県

地域医療支援センター情報交換会（５月１１日開催）用アンケート

【設問１】

貴道府県における医師不足に関する課題、及びその課題に対する県としての取組みについてご記載ください。

- 医師の絶対数の不足
 - ・ 福島県立医科大学及び私立大学医学部（地域枠）の定員増
 - ・ 修学資金の貸与
 - ・ ドクターバンクの運営
 - ・ 臨床研修病院合同ガイダンスの開催
 - ・ 福島県立医科大学に配置している地域医療等支援教員の公的病院等への派遣（非常勤）
 - ・ 女性医師への支援（離職防止・再就業の促進）
- 災害による医師不足
 - ・ 全国支援組織（被災者健康支援連絡協議会）からの派遣
 - ・ 福島県立医科大学災害医療支援寄附講座の開設
 - ・ 災害により離職した医師等を雇用する場合等の医療機関への財政的な支援
- 特定診療科医師の不足
 - ・ 研究・研修資金の貸与
 - ・ 手当等を支給する経費や病診連携に取り組む医療機関が支払う経費を補助することで、特定診療科医師の待遇改善
- 医師の地域間及び診療科間の偏在
 - ・ 修学資金の貸与
 - ・ 医学生を対象とした地域医療体験研修の開催

【設問２】

設問１で記載された取組みについて、地域医療支援センターが関与し、これまで取り組んできた事業内容をご記載ください。（ポンチ絵等、参考資料を添付願います。）

※２４年度から実施の５県においては、独自に取り組まれた内容があれば記載願います。

- 修学資金の貸与及び被貸与者との個別面談等
- ドクターバンクの運営及び県内就業希望医師との個別面談
- 臨床研修病院合同ガイダンスの開催
- 特定診療科医師に対する研究・研修資金の貸与
- 医学生を対象とした地域医療体験研修の開催
- 福島県立医科大学に配置している地域医療等支援教員の公的病院等への派遣
- 女性医師支援

【設問3】

設問2で記載された事業における実績について、できる限り定量的にご記載ください。(あっせん等を行った医師数、作成したキャリアプログラムの数や内容など)

- 修学資金の貸与及び被貸与者との個別面談等
 - ・ 修学資金被貸与者 153人(平成23年度現在)
 - ・ 修学資金制度説明会 1回
 - ・ 個別面談 7人
- ドクターバンクの運営及び県内就業希望医師との個別面談
 - ・ 医師からの問合せ 約30件
 - ・ マッチング 5件
- 臨床研修病院合同ガイダンスの開催及び参加
 - ・ 県主催 1回(県内全16臨床研修病院参加 参加医学生 36名)
 - ・ 他主催者の合同ガイダンス等への参加 4回
- 特定診療科医師に対する研究・研修資金の貸与
 - ・ 研修資金 1名
 - ・ 研究資金 1名
- 医学生を対象とした地域医療体験研修の開催
 - ・ 3地域延べ6回
- 福島県立医科大学に配置している地域医療等支援教員の公的病院等への派遣
 - ・ 地域医療等支援教員 90人の配置
 - ・ 派遣回数 5,479回

【設問4】

貴道府県の地域医療センターにおける、現時点での問題点(課題)があれば、ご記載ください。

- ・ 修学資金被貸与者との個別面談を予定しているが、修学資金制度が複数あり、また、被貸与者数が非常に多いことから、本人の希望を叶えつつ、県が抱える医師不足及び診療科偏在といった問題の解消を図りながら、一人ひとりのキャリアデザインを提示することは難しい。

【設問5】

今年度以降、地域医療支援センターにおいて、どのような事業を実施される予定かご記載ください。

- ・ 設問2の事業を引き続き実施
- ・ 修学資金被貸与者、自治医科大学卒業生等地域医療を担う医師のスキルアップを図る研修会等の実施
- ・ 地域医療を担う若手医師のスキルアップを図る研修会等の実施